

令和4年 市政ふれあい懇談会要旨

- 開催日時 令和4年11月12日（土）14時～15時15分
- 開催場所 近隣センターこもれび
- 参加者 市民9名
- 出席者 星野市長、山元企画総務部長、小林財政部長、海老原市民生活部長、山本環境経済部長、南川建設部長、森都市部長、担当課長等14名
- 懇談要旨

市民：洪水ハザードマップについてお聞きします。先日、市民安全課にて防災に関する出前講座をしていただきました。そこで触れられなかったことについて、お聞きします。金谷樋管の近くに東電パワーグリッドの変電施設があります。田中調節池を水が越えると、すぐ近くの東電の施設が水没してしまい、我孫子西側地区が停電してしまうとの回答を東電パワーグリッドから聞きました。また、停電は3日間程度続いてしまうとのこと。市にて対策を検討してほしいと思います。

柴崎幹線整備事業については、JRとの近接施工の業務ができるように、予算を処置し、今年度内に設計業務ができるようにしてほしいと思います。また、基本設計の中で、2.5Dを確保することで市施工ができるようになった。これにより管径が小さくなり流量が減ったがどこに影響が出るのか教えてほしい。

建設部長：柴崎幹線の事業については、担当から説明いたします。

治水課長補佐：令和2年から令和4年に行っていた2工区は国道の下を横断する形でとても困難な工事でしたが、無事に完了することが出来ました。周辺の皆様方のご協力のおかげです。柴崎神社への工事についても、遅れることなく進めていきたいと考えております。JRの横断部につきましては、現在、協議を進めておりますが、近接工事であるため慎重に進めていきます。補正という話もありましたが、実施設計業務は来年度実施する予定です。2.5Dの離隔を確保することで、市単独で工事を行うことができるとの基本設計ではありましたが、これから実施設計をしていく中で、近接工事を含め詳細に設計を行ってまいります。流量に関しましても、詳細な部分について、実施設計の中で確認していこうと考えております。

建設部長：これから補正をしても3月になり、時期に差異はなく、当初予算で考えている状況です。

市民生活部長：地域防災計画の改正についてですが、随時見直しをしています。大規模停電については、千葉県の房総での例がありますので、蓄電池の確保を市民にお願いしています。停電になると2次災害も予想されるので、適宜変更していきたいと考えております。

市長：国では堤防の強化と調節池の強化を実施しています。3年前に調節池は、ほぼ満水になりましたが、それでも能力の6割程度ということでした。今後は、堤防を強化して100%の力が出せるように国で整備をする予定だそうです。それに加え、周囲堤の強化をしていく予定です。国交省としても、利根川本堤の決壊が起きないように、しっかりと対策をしています。また、上流でも、ダム of 整備を実施しています。ピンポイントではなく、国として、全体として対策をしております。

市民：追加です。今の回答の中で、問題点がいくつかあります。変電所が浸水するという事は、堤防の強化ができないうちは対策が必要です。停電になった場合、マンションの上の方に住んでいる人は、生活が大変です。長期間何も食わずに頑張らなくてはならない。東電パワーグリッドに確認をし、市民への周知をお願いしたい。もう一点は、田中調節池について、国交省の説明について疑問があります。越流堤の位置を青山近くで2m以上かさ上げが必要です。少なくとも変電所の部分については、越水が起きないようにしてほしい。安心して暮らせる市にしてほしい。離隔で水量が減ると申し上げたのは、雨水管の件で申し上げた。影響はどうか教えてほしいと思います。

治水課長補佐：基本設計は、JRとの離隔やその影響などの基本的な設計です。今の勾配を実施できるかななどの詳細は、これからの実施設計の中で確認していくこととなります。

市長：堤防の強化工事が早いのか、変電所の移設が早いのかというのは、別問題だと思っています。我孫子の駅前にも変電所がありますが、駅前ということで、我孫子市としてもあまりよろしくない、と思っています。ただ、こういった状態を整理することは簡単ではないということをご理解ください。ただ、我孫子市だけ停電が起きない用にすることは難しいですが、全体として、停電が起きない街づくりをすることは要望できます。減災を進め、市民の皆様には自助、共助を進めていってほしいと思います。我々は公助を進めていきますので、ご協力のほど、よろしくお願いします。

市民：今伝えたのは、東電の話です。我孫子変電所のみ、水害の危険性があることを認めています。水害が起きても浸水が起きない用に要望してほしい。

市長：房総の台風では東電の予想外のことが起きました。こういった想定を超える場合もあり得ます。ただ、東京電力さんは変電設備等については、水害があっても停電を発生しないようにしっかりと行っています。もし、言われた状況であったとしても、簡単に解決するものではないということをご理解していただき、今出来る部分は、しっかりと行っていくことが重要だと思います。なお、詳細な数字等についての質問は、ここで回答出来ませんので、後日、市政への手紙、メールにて、質問をいただければと思います。

市民：柴崎排水区についてです。天王台6丁目の暫定貯留施設の整備をしていただき

ありがとうございました。安心感が増した。ただ、9月に庭先で一時的に44センチの浸水がありました。線状降水帯の発生もあり心配です。柴崎排水区がいつできるのかは住民も関心を持っています。事業の最終年度は未定とのことですが、大体の時期でいいので、完成時期を教えてくださいと思います。また、完成時期が示せない課題などがありましたら教えてください。

建設部長：柴崎神社までは9年度という予定です。全体の完成時期については、申し訳ないのですが、まだ未定です。そのため、暫定調節池の整備を進めた訳で、床上等の大きな被害が出ないようにしています。水が上がった場所については、後ほど詳しく教えてくださいと思います。申し訳ないですが、完成するまでは暫定的に対処していきたいと考えています。よろしく願いいたします。課題については、担当からご説明します。

治水課長補佐：各区間で課題はあります。柴崎神社までの工事は、基本的に道路の中に管を通していきますが、既存の道路幅が狭く、工事中は車が通れないなど周辺の方へ影響があります。JR部分の工事については、営業線の下であることから地表部分の影響が出ないことを考えなくてはならない為、JRとかなりの協議が必要となります。

その次の天王台駅前通りについては、交通量が多く、う回路などの調整が必要になると思われます。これが要因であるとひとつを示すことはできませんが、ひとつずつ課題を解決し、進めていきますのでご理解ください。